
リヴォルト ベース ユーザーズマニュアル

3チャンネルオールアナログバースアンプシュミレーター/DI



ReVolt Bassをご購入いただきありがとうございます。これから次世代のトーンの可能性が広がる世界へと踏み出します!

ベースは、どんなパフォーマンスにおいても土台を支える存在であり、最高のトーンが求められます。そこで登場するのがReVolt Bassです。これは、アナログの3チャンネルプリアンプであり、あなたの機材の中核を担うべく設計された革新的な製品です。Two notesが誇るこの最新のプリアンプは、究極のベーストーンをプレイヤーに提供することを使命に掲げています。

一般的なアンプ・イン・ボックス、プリアンプ、DIとは一線を画すReVolt Bassは、象徴的な3つのトーンにインスパイアされ、200Vの電圧と真空管の力を駆使して生まれました。さまざまな使用シナリオに対応する設計で、ドライブチャンネルのドライ/ウェットブレンド機能により、必要なときにエッジの効いたサウンドを提供します。Two notesは理解しています:トーンは重要です。完璧以下で妥協する必要はありません!

このマニュアルの完全な電子版、およびTwo notes Audio Engineeringのソフトウェアとハードウェア製品は、アップデートの対象となります。最新バージョンの製品はTwo notes Audio Engineeringのウェブサイトからダウンロードできます。

このマニュアルではReVolt Guitarについて説明し、その操作方法を提供します。製品を使用する前にこの取り扱い説明書を必ずお読み下さい。本書の内容は十分に検証されており、工場から出荷された時点または当社ウェブサイトからダウンロードされた時点で正確に製品を説明していると考えられます。

Two notes Audio Engineering is a registered trademark of:
OROSYS SAS
76 rue de la Mine
34980 Saint-Gély-du-Fesc
France
Tel: +33 (0)484 250 910
Fax: +33 (0)467 595 703
Contact and support: <http://support.two-notes.com>
Website: <http://www.two-notes.com>

このドキュメントは、OROSYS SASの独占的所有物です。製品開発のために、OROSYS SASは、事前の通知なしに技術仕様を変更、修正、および/または生産を中止する権利を留保します。OROSYS SASは、ReVolt BASSの不適切な使用に起因する偶発的またはその他の損害について責任を負いません。このマニュアルに記載されている安全上の注意を参照してください。このドキュメントのいかなる部分も、OROSYS SASの書面による許可なしに複製することは固く禁じられています。

すべての製品名および商標は、それぞれの所有者に帰属します。本書に記載されている製品名および商標は、ReVolt BASS の開発時に使用されたものであり、OROSYS SAS とは一切関係ありません。

序文

1. 安全上の注意

製品を使用する前に、以下の情報を注意深く読み、留意する必要があります。このドキュメントは、ユーザーと製品の両方を保護するために重要であるため、安全な場所に保管してください。デバイスの誤動作が疑われる場合は、常に資格のある技術者の支援を得てください。

主電源アダプターは必要なボルトと一致する必要があります。あなたの国のボルトを確認してください。そうでない場合は、ユニットを壁のコンセントに接続しないでください。これにより、主電源アダプター、ユニットが損傷し、ユーザーが怪我をする可能性があります。この製品は、雷が発生しているときには使用しないでください。雷の危険性のある悪天候の場合は、感電や火災の危険を減らすために電源アダプターを抜いてください。本機に付属の主電源アダプターは、製品を購入した国の規格に準拠しています。交換が必要な場合は、標準規格に準拠した主電源アダプターをご使用ください。

2. パッケージ内容

出荷されたパッケージには以下が含まれています

- 保護スリーブに入ったReVoltユニット 1台
- 電源アダプター 1個
- 1/8" TRSジャック-to-MIDI Type-Aアダプター 1個
- クイックスタートガイド 1冊

このマニュアルの完全な電子版と、GENOMEのマニュアルは変更される可能性があります。最新バージョンのバンドルソフトウェアおよび関連するユーザーガイドは、Two notes Audio Engineeringのウェブサイトからダウンロードできます。

3. 適合宣言

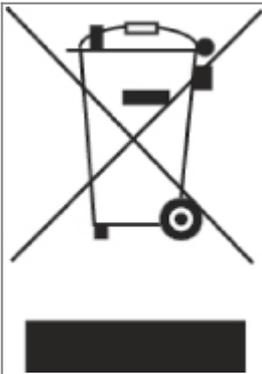
- 製造業者: OROSYS SAS
- 製品カテゴリー: アナログオーディオ信号プロセッサ
- 製品名: ReVolt
- マネージャー: Guillaume Pille

Two notes ReVoltは、以下のCEおよびFCC基準に適合していることが認定されています

- N 55103-1 : 1996 および EN 55103-2 : 1996
- EN 60065 05/2002 + A1 05/2006
- EMC指令 89/336/EEC および低電圧指令 73/23/EEC
- FCC Part 15 : 2008
- ICES-003 : 2004
- オーストラリアおよびニュージーランド向け AS/NZS 3548 クラスB
- IEC : 2008 - CISPR 22 クラスB



4. 欧州連合の個人家庭のユーザーによる廃棄物の処分製品



本製品またはそのパッケージにあるこの記号は、この製品を他の家庭ごみと一緒に廃棄してはならないことを示しています。代わりに、廃電気電子機器のリサイクルのために指定された収集場所に廃棄物を引き渡すことにより、廃棄物を処分するのはあなたの責任です。廃棄時に廃棄物を分別して収集してリサイクルすることで、天然資源を保護し、人間の健康と環境を保護する方法でリサイクルすることができます。リサイクルのために廃棄物をどこに持ち込むことができるかの詳細については、最寄りの市役所、家庭ごみ処理サービス、または製品を購入したショップにお問い合わせください。

5. 保証

OROSYS SASは、このTWO NOTES AUDIO ENGINEERING製品が、購入日から2年間、通常の動作条件下で使用された場合、部品および製造上の欠陥がないことを保証します。この保証は、TWO NOTES AUDIO ENGINEERINGの正規販売店から購入した最初の購入者にのみ適用されるものとします。

重要:購入レシートは限定保証の対象となる購入の証明であるため、保管してください。この限定保証は、購入レシートがないと無効になります。

この保証の対象となる欠陥のある製品は、(OROSYS SASの独自の裁量により)同等または同等の製品と無料で修理または交換されます。保証サービスが必要な場合は、認定TWO NOTES AUDIO ENGINEERINGディーラーに連絡して、該当する保証期間中に購入証明書を添えて、完全な製品を最寄りの認定TWO NOTES AUDIO ENGINEERINGサービスセンターに返送するためのRMAを取得してください。

輸送費

本限定保証には、サービスセンターへの輸送費は含まれていません。OROSYS SASは、この保証の対象となる修理に関して、標準的な地上輸送の返送費用を負担します。本限定保証は、製品のシリアル番号が汚損または削除された場合、または製品が改造、誤用（不適切または不適合な周辺機器への接続を含む）、事故（雷、水、火などを含む）、または放置によって損傷した場合、無効となります。また、OROSYS SASによって承認されていない者が修理を試みた場合も、本保証は無効です。州または地方の法律で課される商品性の黙示保証や特定の目的への適合性の黙示保証を含むいかなる黙示保証も、本限定保証の期間に限定されます。一部の州や地方では、黙示保証の期間に関する制限を許可していないため、上記の制限は適用されない場合があります。

責任の制限

OROSYS SASは、この製品の故障による財産損害、または同製品の使用不能による収入の損失、満足感の喪失、または損害に対して一切の責任を負いません。

TWO NOTES AUDIO ENGINEERING製品を他の場所に送る必要がある場合、元の梱包材を保持することが非常に重要です。これらの材料なしで製品を輸送すると、損傷を避けるのが非常に困難です。OROSYS SASは、不適切な梱包による製品の損傷に責任を負いません。また、元の梱包材なしで返送されたユニットに対して、再梱包料金を請求する権利を有します。

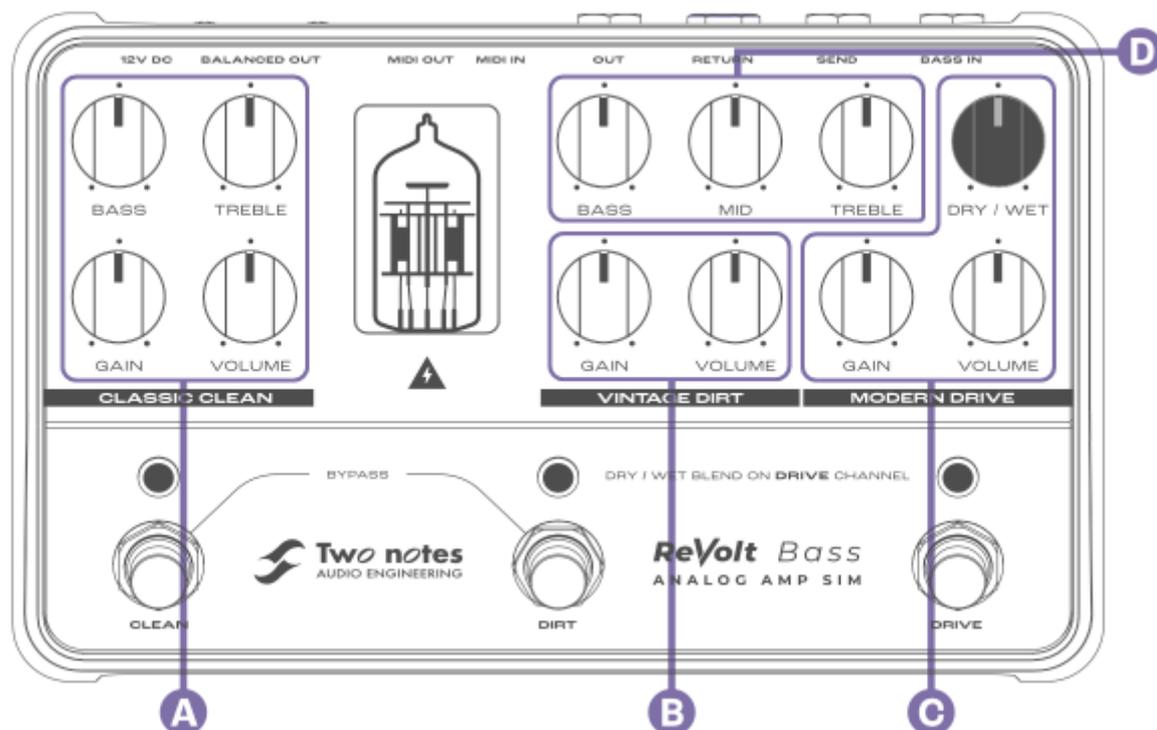
保証の排他性

上記は、OROSYS SASによって製品に関して行われる唯一の保証であり、明示的または黙示的に他のすべての保証に代わるものであることを明示します。

ReVolt Bassの主な特徴

- 3チャンネルのベースアンプシミュレーター、オールアナログ信号経路を採用
- 高電圧で駆動する12AX7プリ管で、トーンに温かみとエッジを加える
- DRY/WET機能で、ドライなBASS IN信号とMODERN DRIVEチャンネル信号のバランスを調整可能
- スタジオでもステージでもシームレスなダイレクトインジェクションを実現する、精密に設計されたアナログキャビネットシミュレーター
- 4ケーブルモード、FXループ、MIDIのイン/アウトにより、既存のセットアップに簡単に統合可能
- ペダルボードやフライリグにぴったりの、頑丈で持ち運びやすいデザイン
- GENOMEのライフタイムライセンスが付属。VST/AU/AAX/スタンドアロンで動作し、デジタルアプリおよびプラグインベースのトーンシェーピングにおける最終的な選択肢を提供
- 10種類の高品質なDynIRキャプチャを収録した、ReVolt: Series-B DynIR Cabinet Collection (100€/ドル相当)が付属。

1. トップパネル



A - CLASSIC CLEAN

名称	機能
BASS	パッシブ低域のポインティングセクションを調整します。//ノブを回すと、80Hz以下の信号が減衰 (-20dBまで) またはブースト (+20dBまで) されます。
TREBLE	ノブを回すと、2.5kHz 以上の信号が減衰 (-20dB まで) またはブースト (+20dB まで) されます。
GAIN	CLASSIC CLEAN チャンネルのゲインを調整します。ゲインを上げると信号が歪み、極端な場合は不要なクリッピングが発生します。
VOLUME	CLASSIC CLEANの出力音量を調整します。FX Loopの手前に位置します。不要なクリッピングが発生した場合、ボリュームを下げてみて、信号経路の後続のデバイスがオーバードライブしていないことを確認してください。

B - VINTAGE DIRT

名称	機能
GAIN	VINTAGE DIRTチャンネルに供給するゲインの量を調整します。ゲインを上げると信号が歪み、極端な場合は不要なクリッピングが発生します。
VOLUME	VINTAGE DIRTチャンネルの出力音量を調整します。FX Loopの手前に位置します。不要なクリッピングが発生した場合、ボリュームを下げてみて、信号経路の後続のデバイスがオーバードライブしていないことを確認してください。

C - MODERN DRIVE

名称	機能
GAIN	MODERN DRIVEチャンネルに供給するゲインの量を調整します。ゲインを上げると信号が歪み、極端な場合は不要なクリッピングが発生します。
VOLUME	MODERN DRIVEチャンネルの出力音量を調整します。FX Loopの手前に位置します。不要なクリッピングが発生した場合は、ボリュームを下げてみて、信号経路の後続デバイスがオーバードライブしないことを確認してください。
DRY/WET	入力信号とMODERN DRIVEチャンネルの信号のバランスを調整します。

D - Shared EQ for VINTAGE DIRT / MODERN DRIVE チャンネル

名称	機能
BASS	ノブを回すと共用トーンスタックの低域を調整します。80Hz以下の信号が減衰 (-15dBまで) またはブースト (+7dBまで) されます。
MID	ノブを回すと共用トーンスタックの620Hzを中心に信号が減衰 (-10dBまで) またはブースト (+10dBまで) されます。
TREBLE	ノブを回すと共用トーンスタックの2.5 kHz以上の信号が減衰 (-17dBまで) またはブースト (+6 dBまで) されます。

2. Footswitch & LED Functionality

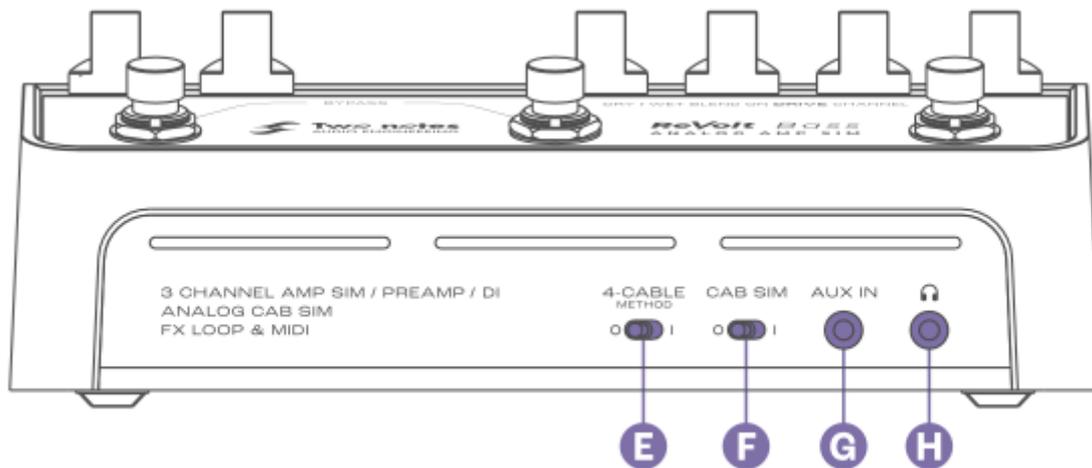
2.1 チャンネルのアクティベーション

各チャンネルは、CLEAN、DIRT、DRIVEフットスイッチを押すことでオンになります。チャンネルがオンになると、フットスイッチの上のLEDが点灯します。

- CLASSIC CLEANチャンネルは緑色
- VINTAGE DIRTチャンネルはオレンジ色
- MODERN DRIVEチャンネルは青色

CLEANスイッチとCRUNCHスイッチを同時に押すと、ReVoltがバイパスされます。

3. フロントパネル



E - 4ケーブル方式

このスイッチは、ReVoltのエフェクトループとそのバイパス動作の挙動を決定します。この機能の包括的な設定ガイドラインについては、「4ケーブル方式でアンプをスーパーチャージする」セクションを参照してください。

F - CAB SIM

CAB SIMスイッチ (Iポジション) をオンにすると、ReVoltのBALANCED出力とヘッドフォン出力に適用されるアナログ・キャビネット・シミュレーションが有効になります。ReVolt Bassの場合、アナログシミュレーションはAmpeg SVT-810Eキャビネットにインスパイアされています。

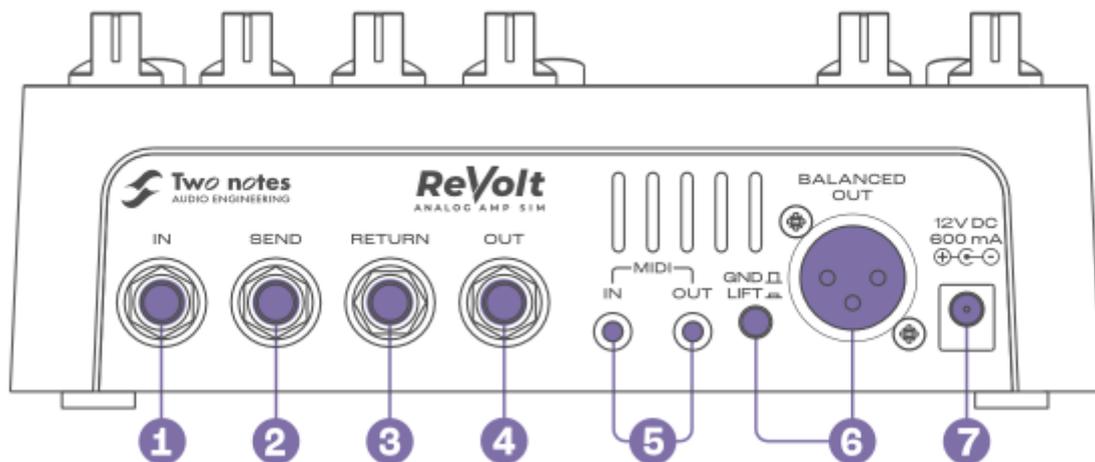
G - AUX イン

ここに音楽プレーヤーを接続し、再生レベルを音源のコントロールで調整します。この入力はステレオです。

H - ヘッドホン出力

ヘッドホン出力は1/8インチTRSジャックソケットです。この出力は、最大100Ωのヘッドホンに対応するようにキャリブレーションされています。ReVoltの信号はモノラルであり、AUX INの音声はヘッドホンを通じてのみステレオで聞くことができます。CAB SIMスイッチで適用されるキャビネットシミュレーションも、ヘッドホン出力を通じて聞くことができます。

4. バックパネル



1 - IN

ここに楽器を接続します。入力は1/4インチTS (アンバランス)ジャックソケットです。

2 - SEND

このアンバランス出力を使用して、エフェクトペダルやアンプのインストゥルメント入力に接続します (4ケーブル方式スイッチ (E)が有効な場合)。SEND出力は1/4インチTSジャックソケットです。

4ケーブル方式スイッチが有効で、ReVoltがバイパスされている (アクティブなチャンネルがない) 場合、SENDはアンプや接続されたデバイスにドライ (未処理) のギター信号を送ります。

3 - RETURN

このアンバランス入力を使用して、外部エフェクトの出力をReVoltに接続するか、4ケーブル方式スイッチ (E)が有効な場合にアンプのエフェクトループSENDをこの入力に接続します。RETURN入力は1/4インチTSジャックソケットパネルマウントコネクタです。

エフェクトペダル (ディレイ、リバーブなど)を使用する場合は、4ケーブル方式をOに設定してください。ReVoltでチャンネルがアクティブな場合、エフェクトの処理された信号が聞こえます。

4 - OUT

このアンバランス出力 (1/4インチTSジャック)は、ReVoltのチャンネルのドライ信号を送信します。CAB SIMはこの出力には適用されません。

5 - MIDI IN/OUT

MIDI In/Outソケットは1/8インチTRSジャックパネルマウントコネクタです。ReVoltには、1/4インチTRSジャック～MIDIタイプAアダプターケーブルが1本付属しています。デフォルトでは、ReVoltは1から7までのプログラムチェンジ (PC) メッセージを送受信します。すべてのMIDIメッセージはReVolt専用のMIDIセットアップメニューで編集できます (詳細はマニュアルのMIDI SETUPセクションを参照してください)。

6 - BALANCED OUT

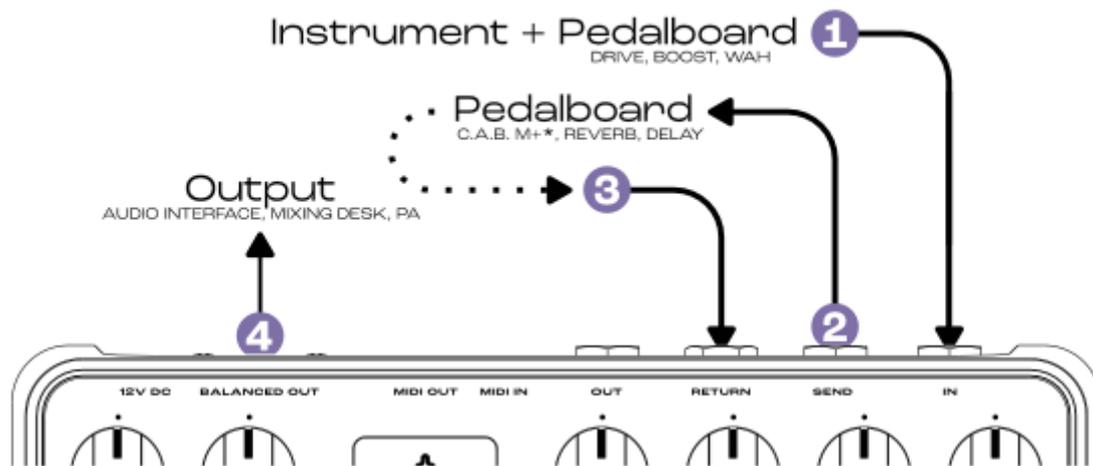
このバランス出力を使用して、オーディオインターフェース、モニター、またはミキシングデスクに直接接続します。CAB SIMスイッチ (F)でこの出力にスピーカーシミュレーションを適用します。GND/LIFTスイッチを有効にすると、グラウンドループによる不要なハムノイズを排除できます。

7 - MAINS POWER ADAPTOR

ここに付属の電源を接続します。ReVoltは12V DC、600mA、およびセンターマイナスの極性が必要です。

使用例

1. ステージとスタジオでのダイレクト接続

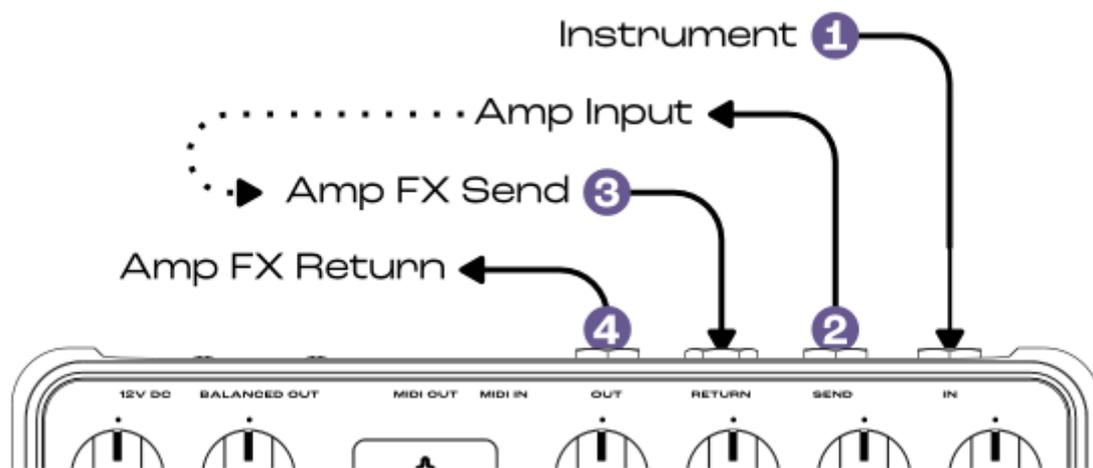


ステージ上やスタジオ録音時に、ReVoltを使用してミキシングデスクやオーディオインターフェースに直接接続します。

BALANCED OUTを使用し、CAB SIMを有効にして、ReVoltからギターのとーン全体を出力します。ReVoltのFXループにエフェクトを追加して、さらにトーンを洗練させることができます。

また、エフェクトループやOUT出力にC.A.B. M+を接続して、クラス最高のDynIRキャビネットエミュレーションをリグに追加することもできます。

2. 4ケーブル方式でアンプをスーパーチャージ



アンプにエフェクトループが装備されている場合、ReVoltの3つのチャンネルをアンプのチャンネル仕様に追加します。ReVoltで4ケーブル方式を有効にし、以下の接続ガイドラインに従ってReVoltのエフェクトループとアンプのエフェクトループを組み合わせます。

1. 楽器/ペダルボードをReVoltのINに接続する。
2. ReVoltのSENDをアンプの入力に接続する。
3. アンプのエフェクトループSENDをReVoltのRETURNに接続する。
4. ReVoltのOUTをアンプのエフェクトループRETURNに接続する。

ReVoltがバイパスされている場合、ドライなギター信号がアンプの入力を通過し、アンプのすべての機能やトーンシェーピングはReVoltの全アナログ処理によって変更されません。ReVoltでチャンネルがアクティブになると、信号はReVoltのプリアンプとトーンスタックを通過し、アンプのパワーアンプにのみフィードされます。

3. GENOMEでさらにトーンを追求

OUT出力をオーディオインターフェースのインストゥルメント入力に接続し、ReVoltのチャンネルをGENOMEと組み合わせて、キャビネットシミュレーションと追加のポストプロセッシングエフェクトを強化します。

または、CAB SIMを無効にし、BALANCED OUTをオーディオインターフェースのマイクプリアンプに接続して、GENOMEで信号を録音/処理することもできます。

仕様

インプット	サイズ	機能/仕様
IN	6.35mm (1/4インチ)	ジャック 6.35mm (1/4インチ)、アンバランス (TS、チップ/スリーブ) インピーダンス:1M Ω
SEND	6.35mm (1/4インチ)	ジャック 6.35mm (1/4インチ)、アンバランス (TS) 最大出力レベル:11dBu インピーダンス:10k Ω
RETURN	6.35mm (1/4インチ)	ジャック 6.35mm (1/4インチ)、アンバランス (TS) 最大入力レベル:11dBu インピーダンス:1M Ω バッファなし、 アクティブ時はOutputに直接接続
OUT	6.35mm (1/4インチ)	ジャック 6.35mm (1/4インチ)、アンバランス (TS) 最大出力レベル:11dBu インピーダンス:300 Ω
MIDI IN	3.5mm (1/8")	MIDIアダプター・ケーブル ピンアウト:TIP=DIN 5 RING=DIN 4 SLEEVE=DIN 2
MIDI OUT	3.5mm (1/8")	MIDIアダプター・ケーブル ピンアウト:TIP=DIN 5 RING=DIN 4 SLEEVE=DIN 2 TIP=DIN 5 RING=DIN 4 SLEEVE=DIN 2
GND LIFT	PUSH BUTTON	スイッチをオンにすると、ReVoltのグラウンドとバランス・オーディオ 出力の接続が開きます (切断されます)。
BALANCED OUT	XLR	バランス インピーダンス:600 Ω バランス、300 Ω アンバランス 最大出力レベル:11dBu
12V DC 600mA	2.1mm	主電源アダプター DCジャック2.1mm、マイナスセンター 入力電圧:12V DC 消費電力:約6W 消費電流:600Ma

高度な機能

1. セットアップメニューシステムの使用

セットアップメニューに入るには、フットスイッチAを押しながらデバイスに電源を供給します。セットアップメニューが表示されると、「チューブウィンドウ」に「最初のページ」の色が表示されます。

- フットスイッチBを押すと、次のページに進みます。
- フットスイッチAを押すと、前のページに戻ります。
- フットスイッチCを押すと、ページに入ります。
- 最後のページが選択されているときにフットスイッチBを押すと、最初のメニューが選択され、チャンネルLEDが素早く点滅します。
- 最初のページが選択されているときにフットスイッチAを押すと、最後のメニューが選択され、チャンネルLEDが素早く点滅します。
- サブメニューに入るには、フットスイッチCボタンを押します。「チューブウィンドウ」の色が素早く点滅します。
- サブメニュー内では、サイクルの電源を再投入する必要があります。
- 有効な設定はすぐに保存されます。
- ユーザーに表示される番号は、チャンネルLEDを使用して表示されます。
 - oチャンネルA:100の位
 - oチャンネルB:10の位
 - oチャンネルC:1の位
- 例:123という番号は、チャンネルAで1回、チャンネルBで2回、チャンネルCで3回点滅して表示されます。同じプロセスがエラーメッセージにも適用されます。

2. メニューページ

セットアップメニューページと点灯色の参照

ページの順序は以下の通りです:

- FXループのデフォルト設定:ピンク
- MIDIモニター:ホワイト
- MIDIラーニング:ブルー
- MIDIチャンネル:オレンジ
- MIDI PC番号:パープル
- FX LOOP MIDI CC:ターコイズ
- FWバージョン / 工場出荷時リセット:レッド

3. MIDIセットアップ

3.1 MIDIモニター

MIDIモニターは、チューブ・ウィンドウの後ろにあるRGB LEDを使って、受信したMIDI (PC、CC、SYSEX)メッセージのタイプを表示します。

MIDIメッセージを受信した場合の典型的な動作は以下の通りです

- 有効なメッセージを受信、チャンネルが間違っている - ORANGE を表示
- 有効なメッセージを受信、PC - GREEN、CC - BLUE を表示します。チャンネルLEDにメッセージ#が表示されます。
- 有効な SYSEX を受信、PINK を表示。メッセージのバイト数が 999 未満の場合、チャンネル LED に表示。

3.2 MIDIラーニング

このメニューは、各ReVoltチャンネル(各チャンネルのブースト状態を含む)およびバイパスモードに関連付けられたMIDI PC番号を設定するために使用できます。デフォルトのMIDI PC値は以下の通りです:

	チャンネルA:	チャンネル A+ブースト:	チャンネルB:	チャンネル B+ブースト:	チャンネルC	チャンネル C+ブースト	バイパス:
Guitar	PC 1	PC2	PC3	PC4	PC5	PC6	PC7
BASS	PC 1	-	PC2	-	PC3	-	PC4

このセットアップメニュー内でフットスイッチを押すと、そのメッセージをプログラムするためにペダルが設定されます。対応するLEDが1秒間点灯し、その後、現在そのチャンネルに割り当てられているPC番号が表示されます。

3.2.1 「チャンネルオン」PCの割り当て

A、B、またはCを押すと、対応するチャンネルLEDが一瞬点灯します。1秒後、ReVoltはチャンネルLEDを使用して現在割り当てられているPC番号を点滅させます。ユーザーは有効なMIDI PCメッセージを送信することができます。

- 有効な場合 - チャンネルLEDが1秒間点灯し、その後、ReVoltは新しく割り当てられたPC番号を点滅させ始めます。
- 無効な場合 - PCメッセージが他のチャンネル機能に既に割り当てられている場合、チャンネルLEDが3回点滅します。デバイスは割り当てモードのまま、有効なPCメッセージを待機します。

3.2.2 「Channel On BOOST」PCの割り当て (A、B、またはC)

A、B、またはCを2回押すと、「チューブウィンドウ」がブーストモード(非常に赤く)を示します。対応するチャンネルLEDが一瞬点灯します。1秒後、ReVoltはチャンネルLEDを使用して現在割り当てられているPC番号を点滅させます。ユーザーは有効なMIDI PCメッセージを送信できます。有効な場合、チャンネルLEDは1秒間点灯したままになり、その後ReVoltは新しく割り当てられたPC番号を点滅させ始めます。無効な場合(PCメッセージがすでに他のチャンネル機能に割り当てられている場合)、チャンネルLEDが3回点滅します。デバイスは割り当てモードのまま、有効なPCメッセージを待ちます。

3.2.3 BYPASS PCの割り当て

A+Bを押します:すべてのLEDが2回500msずつ点滅します。

1秒後、ReVoltはチャンネルLEDを使用して現在割り当てられているPC番号を点滅させます。ユーザーは有効なMIDI PCメッセージを送信できます。

有効な場合、チャンネルLEDは1秒間点灯したままになり、その後ReVoltは新しく割り当てられたPC番号を点滅させ始めます。

無効な場合 (PCメッセージがすでに他のチャンネル機能に割り当てられている場合)、チャンネルLEDが3回点滅します。デバイスは割り当てモードのまま、有効なPCメッセージを待ちます。

3.3 MIDI PC番号

デフォルトでは、MIDI PCの開始値は0に設定されています。

このメニューページでは、3つのチャンネルフットスイッチのいずれかを押した際に送信されるMIDI PCメッセージの開始値を設定できます。送信されるPCメッセージは以下の通りです:

	チャンネルA:	チャンネルA+ブースト:	チャンネルB:	チャンネルB+ブースト:	チャンネルC	チャンネルC+ブースト	バイパス:
Guitar	PC番号	PC番号+1	PC番号+2	PC番号+3	PC番号+4	PC番号+5	PC番号+6
BASS	PC番号	-	PC番号+1	-	PC番号+2	-	PC番号+3

現在のPC番号はチャンネルLEDを通じて表示されます:

PC番号はフットスイッチA、B、またはCを押すことで増減できます。

•FS A = -1 FS B = +1 FS C = +10

注意:ペダルを最大許容MIDI PC開始値 (ReVolt Guitarでは122、ReVolt Bassでは125)を超えるように設定した場合、最初のオプションに戻り、その逆も同様です。

最小値についても同様です。

3.4 MIDIチャンネル

デフォルトでは、ReVoltのMIDIチャンネル設定は17 (OMNI) に設定されています。

このメニューページでは、ReVoltが使用するMIDIチャンネルを設定できます。ReVoltで利用可能なMIDIチャンネル値は次の通りです:

0	1から16	17
MIDIオフ、THRUのみアクティブ	このチャンネル番号でMIDIメッセージを受信および送信	OMNI (すべてのチャンネルでメッセージを受信し、チャンネル1で送信)

現在のチャンネル番号はチャンネルLEDを通じて表示されます。

チャンネル番号はフットスイッチA、B、またはCを押すことで増減できます。

FS A = -1 FS B = +1 FS C = +10

注意:最大許容値(17)を超えるようにプログラムした場合、それは17に設定されたままになります。
最小値についても同様です。

4.FXループ

4.1 デフォルト状態

デフォルトでは、ReVoltのFXループのデフォルト状態は「すべてオン」に設定されています。この設定メニューを使用して、4CMモードを使用していない場合の各チャンネルのFXループ状態を選択できます。

メニューに入ると、チャンネルLEDが「ON」を表示している場合、そのチャンネルではFXループがアクティブです。対応するチャンネルのフットスイッチを押して、関連するチャンネルのFXループ状態を「ON/OFF」に切り替えます。

4.2 FXループCC

デフォルトでは、ReVoltのFXループCC状態は14に設定されています。この設定メニューを使用して、チャンネルごとにFXループCC状態を選択できます。CC番号はMIDI PC番号と同じ方法で表示され、増減できます。詳細は「PC番号」のセクションを参照してください。

5.ファームウェアバージョン / 工場出荷時リセット

この設定メニューを使用して、ReVoltユニットにインストールされている現在のファームウェアバージョンを確認し、工場出荷時リセットを実行するオプションを選択できます。

設定メニューに入ると、現在のファームウェアバージョンがReVoltのチャンネルLEDに表示されます。工場出荷時リセットを実行するには、チャンネルAのフットスイッチを3回押します。押すたびに、チャンネルLEDの色が白に変わります。シーケンスを完了すると、チューブウィンドウが白く表示され、チャンネルLEDが2秒間点灯して、工場出荷時リセットが正常に完了したことを示します。リセットが完了すると、チャンネルLEDに再び現在のファームウェアバージョンが表示されます。

From:
<https://wiki.two-notes.com/> - User's manuals

Permanent link:
https://wiki.two-notes.com/doku.php?id=revolt_guitar:revolt_guitar_user_s_manual

Last update: 2024/01/17 09:12

